



7月 ほけんだより

平成29年6月28日

粉河保育園

毎日暑い日が続いていますが、この時期、気をつけたいのが熱中症です。
運動量が多く、汗をたくさんかく子どもたちには水分補給が重要です。
ただし、冷たい飲み物を一度に大量に飲んで、かえって体調を崩す原因にも。
外に出る時は必ず帽子をかぶり、炎天下に長時間いるのは避けましょう。



☆気をつけよう！！夏に流行る病気☆

夏に気をつけたい感染症。気になる症状が見られたら、すぐにかかりつけの病院を受診しましょう。

- ◎ヘルパンギーナ・・・高熱と喉の痛み。特に喉は、水疱ができるため、かなり痛む
(乳児はミルクが飲めないほど)
- ◎プール熱(咽頭結膜炎)・・・高熱と喉の痛みのほか、目の痛み、かゆみ、充血など結膜炎のような症状がでる。
- ◎手足口病・・・手のひらや足の裏、口の中に小さな発疹や水疱ができ、熱が出ることも。

※感染症でお休みの場合、登園する際に「登園届」が必要です。
保護者名の後に必ず「印鑑」を捺印してください。

～おしらせ～

- ◎現在 保育園では「おたふく風邪」「手足口病」「急な発熱(高熱)」等の感染症にかかっている園児がいます。特に急な発熱については、午前中は元気に遊んでいたのに、午睡前や夕方近くになって高熱が出たりします。このような時には、まず保護者の方に連絡をいたします。夜になると熱が出てきたり数日高熱が続いたりすると園児は体力が弱ってきますので、お子さまの様子を観察、確認してあげてほしいと思います。
- ◎また、結膜炎(ウイルス性、細菌性)も流行してきます。症状は目が赤くなったり、目やにがでたり、まぶたが腫れたりします。このような症状が見られた時はひどくならないうちに、眼科受診をお願いします。(また感染する可能性もありますので、早めの受診をお願いします)

※保健ニュースとして、粉河保育園でどんな病気が流行っているかなどを玄関に
掲示します！

